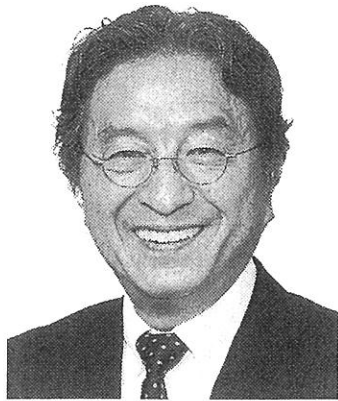


情報共有し社会に発信

ひと



東京、神奈川以外から支部長が選出されるのは初という。関東甲信越支部は全国の会員の約半数を占める大所帯。「地方の小規模な事務所というこれまでにない視点から組織に新風を吹

日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部長

^{けいの} ^{まさし}
慶野 正司氏

き込みたい」と話す。

「建築家の職能や役割を広く知ってもらうことが必要」と問題意識を持つ。

ことから、市民が安心して設計を依頼できる建築家の育成も重点課題と捉えている。

「支部内の連携を強化し、情報交換・共有を進め、その上で情報発信する。SNS(インターネット交流サイト)などを活用することで、若い世代にも建築家の存在感を伝えたい」と意気込む。

「JIA(日本建築家協会)には建築家資格制度があるが、この制度をもっと活用できるようにしたい」と考える。「建築家には設計を通して公益を保護し寄与する社会的責任がある」

会員の高齢化も進み、新会員の獲得も急務。JIAでは新型コロナウイルスで困窮する建築系学生の支援業を行った。それもあってか「このたび学生会員が55人(支部では37人)増えた、これらの情報提供や活動の場づくりが求められる」と意欲を見せている。

.....
関東学院大学工学部建築学科卒。アトリエ慶野正司一級建築士事務所代表。6月26日付で支部長就任。新潟県出身、63歳。